

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算報告に関する件

一般社団法人 日本養豚協会 2019年度事業報告

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

I 活動状況

A. 通常総会

6月11日 2019年度通常総会開催 東京都千代田区飯田橋 ホテル グランドパレス

【議案】

- 第1号議案 2018年度事業報告及び収支決算報告に関する件
- 第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 2019年度会費の徴収に関する件
- 第4号議案 役員候補の補選に関する件

【部会報告】

【記念行事】

感謝状贈呈：ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社

表彰行事：2018年度 JPPA 優良経営者表彰者 (有) 大野ファーム 後藤 祐三 氏

講演：「国内防疫対策について-豚コレラ、アフリカ豚コレラ-」

農林水産省消費安全局 農林水産技官 小倉 弘明 氏

B. 理事会

第1回理事会 5月28日 東京都千代田区5番町 AP市ヶ谷会議室

【報告事項】

- (1) 豚コレラの発生に関する要請活動等について
- (2) 家畜防疫互助基金支援事業について
- (3) 部会報告

【協議事項】

- (1) 通常総会に上程する議案について
- (2) 総会次第及び役割担当について
- (3) 常勤役員候補者について
- (4) 消費税率改正に伴う登録規程等の一部改正について
- (5) 東海5県からの豚コレラワクチン接種に関する要請について
- (6) 家畜防疫互助基金制度に対する要請について
- (7) 豚コレラ募金状況について

(8) その他

- ① 養豚チェックオフの今後の進め方について
- ② 行事予定

講演：15時30分頃 (株) アニマルメディア社 岩田 寛史氏
「豚コレラで考える業界の利益」

第2回理事会 (通常総会前) 6月11日 東京都千代田区飯田橋 ホテル グランドパレス

【協議事項】

- (1) 通常総会の事前打合せについて

第3回理事会 6月11日 東京都千代田区飯田橋 ホテル グランドパレス

【協議事項】

- (1) 役付理事の選定に関する件

第4回理事会 9月19日 東京都渋谷区代々木 全理連ビル

【報告事項】

- (1) JPPA2019(4月~8月)年度収支報告及び事業報告について
- (2) 豚コレラに関する要請活動等について
- (3) 部会活動報告

【協議事項】

- (1) 豚コレラ等に関する今後の活動方針について
- (2) 養豚チェックオフの今後の活動方針について
- (3) 豚枝肉格付規格改正に向けての活動方針について
- (4) その他
 - ① 台風15号被害状況について
 - ② 会費徴収規程の一部改正について
 - ③ 旅費規程の一部改正について
 - ④ 行事予定

第5回理事会 11月21日 東京都渋谷区代々木 全理連ビル

【報告事項】

- (1) JPPA2019(4月~11月)年度収支報告及び事業報告について
- (2) 豚コレラに関する要請活動等について
- (3) 部会活動報告

【協議事項】

- (1) 豚コレラ等に関する今後の活動方針について
- (2) 養豚チェックオフの今後の活動方針について

- (3) 役員改選について
- (4) その他
 - ①食料・農業・農村基本計画の見直しに関する要請について
 - ②豚コレラ被害者の見舞金について
 - ③台風被害状況について
 - ④志澤名誉顧問の叙勲祝賀会について
 - ⑤行事予定

第6回理事会 2月27日 東京都千代田区内幸町 帝国ホテル

【報告事項】

- (1) 2019年度4月~12月期 収支報告及び事業報告について
- (2) 豚コレラに関する要請活動等について
- (3) 部会活動報告 他
- (4) 豚改良増殖推進検討委員会の進捗報告

【協議事項】

- (1) 豚熱 (CSF) ,アフリカ豚熱 (ASF) 等に関する今後の活動方針 について
- (2) 2020年度の活動方針について
- (3) 役員改選について
- (4) その他
 - ①行事予定

C. 監査

5月14日 JPPA 事務所において2監事による監査を実施

D. その他の会議

① 副会長会議

会長、会長代行、副会長で構成する副会長会議を開催。

7月期副会長会議

JPPA 執行部役員との意見交換会 (2020年2月14日 (木) 機械振興会館会議室)

② 総務企画部会

- 第1回 総務企画部会 (2019年 4月 3日 (水) JPPA 会議室)
- 第2回 総務企画部会 (2019年 5月 21日 (火) JPPA 会議室)
- 第3回 総務企画部会 (2019年 9月 12日 (木) JPPA 会議室)
- 第4回 総務企画部会 (2019年 11月 21日 (木) JPPA 会議室)
- 第5回 総務企画部会 (2020年 2月 13日 (木) JPPA 会議室)

③ 青年部会

第1回 青年部会 (2019年5月23日(木) JPPA会議室)

第2回 青年部会 (2019年8月1日(木) JPPA会議室)

第3回 青年部会 (2019年9月5日(木) JPPA会議室)

第4回 青年部会 (2019年10月3日(木) JPPA会議室)

第5回 青年部会 (2020年1月10日(金) JPPA会議室)

農水との意見交換会 (2019年8月1日(木) JPPA会議室)

*全国から43名の会員が参加し、農水より畜産振興に係る説明の後、飼料、環境・消費拡大の分科会に分かれ農水職員と会員による意見交換を実施。

*2019年11月9日(土)、10日(日)「俺たちの豚肉を食ってくれ」

全国から2日間で延260名の会員及び関係者が参加。

*JPPA 青年部事業に関する意見交換会 (2020年1月10日(金) JPPA会議室)

栗木青年部担当副会長と青年部会委員及び若手会員15名が参加し、今後の青年部事業活動について意見交換を行った。

*青年部セミナー (2020年2月14日(金)、15日(土) 東京都港区 機械振興会館)

*四国養豚青年会設立総会 (2020年2月25日(火) 愛媛県新居浜市 リーガロイヤルホテル)

*養豚生産者意見交換会 in 北海道 新型コロナウイルスの感染拡大のため中止

④ 登記登録・育種改良部会

第1回 登記登録・育種改良部会 (2019年8月19日(月) JPPA会議室)

第2回 登記登録・育種改良部会 (2019年10月15日(火) JPPA会議室)

第3回 登記登録・育種改良部会 (2020年3月24日(火) JPPA会議室)

⑤ 衛生部会

第1回 衛生部会 (2019年8月9日(金) 全理連ビル会議室)

第2回 衛生部会 (2019年11月27日(水) 全理連ビル会議室)

⑥ 流通・消費部会

第1回 流通・消費部会 (2019年6月21日(金) 農水省会議室、茨城県武熊農場)
関税局との意見交換及び農場視察

⑦ 生産・経営部会

第1回 生産・経営部会 (2019年6月19日(水) JPPA 会議室)

第2回 生産・経営部会 (2019年9月18日(水) JPPA 会議室)

第3回 生産・経営部会 (2020年2月21日(金) JPPA 会議室)

⑧ 中小経営部会

第1回 中小経営部会 (2019年8月7日(水) JPPA 会議室)

⑨ ブロック会議等

北海道・東北ブロック	2019年12月3日(火)	福島県新白河	27名
関東ブロック	2019年7月26日(金)	東京都渋谷区	40名
関東ブロック	2019年9月14日(土)	東京都渋谷区	22名
関東ブロック	2020年2月21日(金)	東京都渋谷区	36名
中国・四国ブロック	2019年11月25日(月)	高知県高知市	77名
九州ブロック	2019年9月20日(金)	鹿児島県鹿児島市	89名

⑩ その他の会議

県組織及び登録業務委託団体合同会議 2020年2月20日(木)
東京都渋谷区 全理連ビル会議室 59名

近畿ブロック養豚中小経営意見交換会 2019年9月6日(金)大阪府中央区
5府県 16名

豚コレラ発生に伴う種豚生産者の意見交換会 2019年9月11日(水) JPPA 会議室
国純会、育種改良部会、登録業務委託団体、種豚会社、23名

豚コレラ発生に伴う種豚生産者の意見交換会 2019年10月15日(火) JPPA 会議室
国純会、育種改良部会、種豚会社、13名

豚コレラワクチン接種推奨地域情報交換会 2019年10月30日(水) JPPA 会議室
接種推奨8県、JPPA 役員、近接県組織 26名

豚コレラワクチン接種推奨地域関係団体会議 2020年2月20日(木)
接種推奨17県、JPPA 役員、近接県組織 47名

第1回エコフィールドに関する意見交換会 2019年12月23日(月) JPPA 会議室
JPPA 役員・部会委員、エコフィールド利用推進事業者 15名

第2回エコフィールドに関する意見交換会 2020年1月30日(木) JPPA 会議室

JPPA 役員・部会委員、エコフィールド利用推進事業者 15名

⑪ その他の活動について

1. 日本養豚大学校 初級第VI 麻布大学 39名

第1スクール 2019年5月20日(月)～22日(水)

第2スクール 2019年7月29日(月)～31日(水)

第3スクール 2019年9月24日(火)～26日(木)

⑫ MA米買い付け事業

期	数量 t	買い受実績の あった員数	単価 円 /Kg	事業費 千円 (税、手数料含まず)
2019 第1期	3,415	15	21.0	71,715
2019 第2期	5,370	16	20.8	111,696
2019 第3期	3,801	12	21.8	82,862
2019 第4期	2,289	9	20.8	47,611
計	14,875	-	平均 21.1	313,884

II 業務に関する事業

1. 改良に関する事項

(1) 登録審議会 2019年7月3日(水)

茨城県つくば市 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター

2. 種豚の登録事業 (2019.4.1～2020.3.31)

区 分	件 数	区 分	件 数
(1) 登録事業		7) 一代雑種血統証明	1,549 頭
1) 種豚登録	5,113 頭	8) 海外合成豚証明	
2) 産肉検定	66 頭	①合成豚認定	0 銘柄
3) 産子検定	8 頭	②合成豚種豚場指定	0 場
4) 子豚登記	12,470 頭	③合成豚血統証明	0 頭
		④合成豚移動証明	0 頭
(2) 証明事業	件 数	9) 国内合成豚証明	

1) 血統登記	11 頭	① 合成豚血統証明	11 頭
2) 証明書書換	12 頭	②合成豚移動証明	0 頭
3) 証明書再交付	17 頭	10) 肉豚証明	2,200 頭
4) 移動証明	1,417 頭		
5) 血統能力証明		11)輸入精液証明	665 本
① 子豚・種豚	549 頭	(3) 認定事業	
② 一代雑種・海外合成豚	0 頭	1) 遺伝資源保存指定種豚場認定	45 場
6) 系統証明		2) 育種利用・防疫推進指定種豚場認定	7 場
		3) 黒豚生産農場指定	13 場
① 系統認定	24 系統		
② 系統維持施設指定	25 施設		
③系統種豚証明	227 頭		

3. 登録講習会の開催

本年度は、防疫上の問題を考慮して、開催希望県の要望を受けて原則県内の登録委員資格取得希望者を対象とした講習会を実施。

2019年10月23日、24日	鹿児島県鹿児島市	10名
2020年1月9日、10日	愛媛県松山市	10名
2020年1月23日、24日	香川県観音寺市	24名

4. 共進会に対する褒賞

県数	6 県	共進会の数	6 件	褒賞点数	16 点
(昨年度)	6 県		12 件		22 点)

5. 情報提供及び情報公開

- (1) 種豚情報総合システム（P I N S）の運営、改良情報等の提供
- (2) 会員機関誌 JPPA 通信を定期的に発行
- (3) ホームページへの事業計画及び事業報告の掲載等

Ⅲ 補助事業・委託事業等の実施

- (1) 畜産生産能力・体制強化推進事業（家畜能力等向上強化推進のうち遺伝子検査等の推進、ベンチマークの活用推進）の実施。
米ブランド活用畜産物など全国展開事業の実施。
- (2) （独）農畜産業振興機構 養豚経営安定対策補完事業の実施。
- (3) （公社）中央畜産会 畜産物輸出特別支援事業（豚肉輸出）の実施。
- (4) 2021 国際養鶏養豚総合展 2021年5月26日～28日の3日間開催に向けて実施主体として運営委員会への参画。
- (5) （公社）畜産技術協会 豚の飼養管理指針に関するアンケート調査の実施。

IV 協議会事務局等の運営

(1) 国産純粋種豚改良協議会事務局の運営

平成 28 年 3 月 31 日に設立された「国産純粋種豚改良協議会」の事務局を引き受け、産官民一体となって実施する国産純粋種豚の改良に参画。

(2) 養豚チェックオフ協議会事務局の運営

平成 29 年 3 月 22 日に設立された「養豚チェックオフ協議会」の事務局を引き受け、養豚チェックオフの制度化に向けた活動に参画。

(3) 日本畜産物輸出促進協議会 豚肉輸出部会事務局の運営

第 1 回豚肉輸出検討委員会(2019 年 5 月 15 日(水) 全理連ビル会議室)

平成 30 年度輸出部会総会(2019 年 5 月 15 日(水) 全理連ビル会議室)

令和元年度豚肉 PR 活動検討委員会 (2020 年 1 月 31 日(金) 全理連ビル会議室)

豚肉輸出促進活動：

① EU における豚肉輸出先国・地域のマーケット調査

ドイツ・デンマーク・オランダ・ベルギー 2019 年 6 月 27 日～7 月 6 日

② 香港：FOOD EXPO (中畜主催)

2019 年 8 月 15 日～17 日

③ 香港：プロモーション&レストランフェア

2019 年 10 月 10 日～14 日

④ 香港：プロモーション&レストランフェア

2019 年 12 月 4 日～ 6 日

⑤ シンガポール：プロモーション&レストランフェア

2019 年 12 月 7 日～11 日

(2) 豚コレラに関する要請活動等について

(2019年4月1日～2020年3月31日)

日付	内容	活動及び要請先	活動対応者
4月3日	<p>【緊急】総務企画部会 豚コレラに関する、今後のJPPA対応及び要請について統一見解：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月13日の要請書に基づいて、国家防疫*の観点で、専門家による地域及び期間限定でワクチン接種の対策を講じて欲しい ・ 生産者の不安を払拭するため、ワクチン接種に踏み切る場合の条件等について示して欲しい ・ 海外からの畜産物の違法持込に対し、関連法案を制定して欲しい ・ 殺処分生産者への経営支援を充実して欲しい 	JPPA 会議室	総務企画部会 JASV 呉理事長 JASV 伊藤貢先生 農水動衛課
4月10日	<p>【緊急要請】岐阜県恵那市で18例目の発生が確認されたことから、4月3日にJPPA統一見解とした要請内容を早急に実施するよう要請</p>	農水省消費安全局動物衛生課小倉室長、生産局畜産部富田部長	松村会長代行、JASV 呉代表理事、小磯専務
4月12日	<p>【緊急要請】4月3日にJPPA統一見解とした要請内容と衆参両議院農林水産委員会決議を早急に実施するよう要請</p>	自民党養豚農業振興議員連盟宮腰会長、葉梨幹事長、白須賀事務局長他幹部議員に要請	JPPA 松村会長代行、トンセイレン志澤会長
5月17日	東海5県緊急検討会に出席 参加者 104名		小磯専務
5月28日	農水吉川大臣と今後の防疫対策について意見交換、国の方針を確認		香川会長、志澤名誉顧問、小磯専務
5月28日	東海5県の代表者を理事会に招へいし、要望を聞くとともに決議書を香川会長が受理。	理事会	
5月29日	東海5県の要請と併せ理事会で承認された防疫対策等に関する要請を実施した。	吉川農水大臣に防疫対策と互助基金制度の見直しについて要請	香川会長、小磯専務

6月11日	2019年度JPPA総会において、被害を受けた岐阜県の生産者からの、国に飼養豚・野生イノシシを通じた抜本的な豚コレラの終息策、及び経営再開が遅れる生産者への支援を求める緊急動議が提出され、満場一致で採択。		香川会長以下執行部役員
6月13日	2019年度JPPA総会での緊急動議を受け、JPPAから国に飼養豚・野生イノシシを通じた抜本的な豚コレラの終息策、及び経営再開が遅れる生産者への支援を求める要請を実施。	農水省新井消費・安全局長、枝元生産局長	香川会長、小磯専務
7月17日 ～18日	農水動物衛生課からJPPAの要請に対する文書での回答を受け、理事に対し予防的ワクチン接種、イノシシの清浄化までの期間、接種豚の流通についての要請に対する賛否を問うこととし、広く会員からの意見を得るためJPPA通信を通じて意見を求めることとした。		
7月26日	ベトナム留学生によるASFウイルスに感染した肉類の持ち込みに対するベトナム政府への抗議を要請した。	農水省消費・安全局小倉技官	香川会長、桜井常務
7月29日	福井県での新たな発生と富山県でのイノシシ感染が確認されたことを受けて、農水動物衛生課に防疫体制の見直しにつ	農水省消費・安全局小倉技官	松村会長代行、塩澤副会長、小磯専務、桜井常務

	いて緊急要請した。		
7月31日	JPPA 副会長会議を開催し、役員、県組織、会員に対し賛否を問っていた予防的ワクチンの接種に関して、大多数の意見が予防的ワクチン接種、イノシシの清浄化までの期間、接種豚の流通についての要請を行うことに賛成であったことを受けて農水、自民党養豚議連の先生方に要請を行うことを決定した。		
8月1日、2日	農水、自民党養豚議連の先生方に要請	農水省水田生産局長、新井消費・安全局長、自民党養豚議連宮腰会長他7名	香川会長、栗木副会長、中岡副会長、横山副会長、小磯専務、櫻井常務
8月2日	吉川農水大臣に予防的ワクチンの接種の検討、イノシシ清浄化までの期間、接種豚の流通について要請	吉川農水大臣	香川会長、小磯専務
8月5日	自民党インナー会議に香川会長と松村会長代行が呼ばれ予防的ワクチン接種の検討について要請	森山、江藤、山田、野村、林、塩野谷、自民党政調（吉田、久保）	香川会長、松村会長代行
8月27日	令和2年度予算要求に豚コレラの被害農家の経営再開、飼養衛生管理基準遵守のための関連施設の新設・改修等の予算措置及びアフリカ豚コレラの水際対策強化のための予算措置を要請	自民党（政調、農林・食料戦略調査会、農林部会、農協改革等検討委員会、農政推進協議会合同会議）	香川会長及び事務局
8月28日	地域限定、期間限定の予防ワクチン接種の検討と接種豚・豚肉の円滑な流通を要請。 飼養衛生管理基準遵守のための関連施設の新設・改修等の予算措置を要請	自民党養豚農業振興議員連盟総会において要請	JPPA 香川会長&役員、トンセイレン志澤会長&役員、岐阜県・愛知県生産者代表。
9月5日	養豚記者会の要請を受け豚コ		香川会長、松村会長

	レラ発生1年経過の会見実施。		代行、栗木副会長
9月13日	山梨県石和と場での豚コレラ疑いを受けて、消費安全局、江藤農水大臣に緊急要請	江藤農水大臣、新井消費安全局長、熊谷動物衛生課長、小倉技官	香川会長、中岡副会長、櫻井常務
9月13日	山梨県石和と場での豚コレラ疑いを受けて、自民党養豚議連の先生に緊急要請	森山、宮腰、葉梨、福山	香川会長、横山副会長、志澤名誉顧問、櫻井常務
9月14日	埼玉県、長野県での発生を受けて緊急に関東養豚協議会を開催し、各県知事に予防的ワクチン接種の要請を行うことを決議。併せて県下生産者に賛同を得る活動を実施。		松村会長代行、志澤名誉顧問、小磯専務
9月17日	江藤農水大臣より、緊急に面談の要請があり、これまで要請している予防的ワクチン接種等の検討を早急に要請。		香川会長、松村会長代行、横山副会長、栗木副会長、小磯専務、櫻井常務
9月25日	農水副大臣、政務官就任の訪問に際し、予防的ワクチン接種を盛り込んだ防疫指針改正に関して御礼と関連対策の実施を要請。		香川会長、松村会長代行、中岡副会長、新村理事、小磯専務、櫻井常務
10月1日	畜産ネットワーク幹事団体の一員として江藤農水大臣就任の訪問に際し、予防的ワクチン接種を盛り込んだ防疫指針改正に関して御礼と関連対策の実施を要請。		香川会長、小磯専務、
10月2日	吉川前農水大臣、宮腰自民党養豚議連会長を訪問し、予防的ワクチン接種を盛り込んだ防疫指針改正に関して御礼と関連対策の実施を要請。		香川会長、小磯専務、櫻井常務
10月25日	江藤農水大臣に防疫指針の一部変更に伴い、特例措置の具体的条件等の策定に関して要請。	自民党養豚議連 宮腰会長他12名の先生に要請の報告を行った。	香川会長、小磯専務、櫻井常務、種豚生産者連絡会
10月25日	種豚生産者連絡会の防疫指針の一部変更に伴う要請に香川会長が同行し要請。	農水省水田生産局長、新井消費・安全局長	種豚生産者連絡会（桑原、星、岡村、忍田）、香川会長、小磯専務、櫻井常務、
10月30日	予防的ワクチン接種推奨11地域の県組織代表と責任者を参集し、進捗状況等について意見		JPPA 執行部役員、接種推奨地域県組織代表者及び事務局責任

	交換を行った。 会議終了後、自民党の地元役員を訪問し、要請を行った。		者
10月30日 ～31日	自民党養豚議連幹部、自民党インナーメンバー、公明党農林関係議員に防疫指針の一部変更に伴う、特例措置の具体的条件等の策定に関して要請。		香川会長、中岡副会長、新村理事、小磯専務、桜井常務
10月31日	自民党畜産振興議員連盟総会において防疫指針の一部変更に伴う、特例措置の具体的条件等の策定、TAG 影響対策、台風被害支援対策について要請。		香川会長、小磯専務、桜井常務
11月29日	CSF 予防的ワクチン、ASF 侵入防止に関し江藤農水大臣と農水幹部との意見交換会に出席。		香川会長、小磯専務、他6団体
12月4日	自民党畜酪小委員会において2020年度対策の中で、ASF 侵入防止の水際対策の強化、CSF ワクチン接種に伴う種豚、精液、肥育もと豚の円滑な流通確保、野生イノシシの感染拡大防止について要請した。		香川会長、小磯専務
1月15日	自民党農林部会において家伝法改正に伴う、生産者支援等の強化について要請。		香川会長、桜井常務
1月30日 ～31日	ASF の予防的殺処分に関する家伝法改正に対し、経営再開のための補償等について要請。	自民党養豚議連 宮腰会長、野村先生、農水省	香川会長、桜井常務
2月5日	自民党農林部会において家伝法改正(骨子)の議論を傍聴後、農林部会、養豚議連の先生方に挨拶&要請。		松村会長代行、中岡副会長、横山副会長、岡部理事、桜井常務、他群馬県養豚協会(都丸、横室)
2月14日	自民党養豚振興議員連盟総会において養豚農業振興法及び家伝法改正に向けてヒヤリング&要請。		香川会長、松村会長代行、中岡副会長、横山副会長、志澤名誉顧問、稲吉顧問、小磯専務、桜井常務

(3) 部会活動報告他

2020年2月17日(月) 環境省排水基準の見直し検討会において
 新村生産・経営部会長、北見中小経営部会長が出席し別紙によりヒヤ
 リングを受けた。

(4) 豚改良増殖目標(抜粋)

表1: 純粋種豚の能力に関する目標値(全国平均)

	品 種	繁殖能力		産肉能力				
		1 腹当たり 育成頭数	1 腹当たり 子豚総体重	1 日平均増体量		ロース芯 の面積	背脂肪層 の厚さ	飼料要 求率
				0- 105kg	30- 105kg			
現 在	ハークシャー	8.0	45	531	700	28	1.7	3.2
	ラントレース	10.2	59	637	831	35	2.0	3.1
	大ヨークシャー	9.8	58	646	864	35	1.6	3.0
	デュロック	7.6	43	702	981	34	2.2	3.0
目 標 (令和12年度)	ハークシャー	8.5	47	560	745	30	1.7	3.1
	ラントレース	11.2	64	690	910	35	1.8	3.0
	大ヨークシャー	10.8	64	700	950	35	1.6	2.9
	デュロック	8.1	45	760	1,070	35	2.0	2.9

表2: (参考) 純粋種豚の能力に関する育種価向上目標数値

	品 種	繁殖能力		産肉能力	
		1 腹当たり 育成頭数	1 腹当たり 子豚総体重	1 日平均増体量	
				0-105kg	30-105kg
目 標 (令和12年度)	ハークシャー	頭/10年	kg/10年	g/10年	g/10年
	ラントレース	+0.5	+2	+29	+45
	大ヨークシャー	+1.0	+5	+53	+79
	デュロック	+1.0	+6	+54	+86
	デュロック	+0.5	+2	+58	+89

表4: (参考) 肥育豚の能力に関する数値(全国平均)

	出荷日齢	出荷体重	飼料要求率
現 在	日	kg	
	188	115	2.9
目 標 (令和12年度)	180	120	2.8

(5) 食料・農業・農村基本計画（抜粋）

今後10年間の農政の方向性を示す新たな食料・農業・農村基本計画。

今回の基本計画全体のポイントは、我が国の人口減少や国内市場の縮小が見込まれる中で、規模の大小や条件に関わらず可能な限り農業生産基盤を維持していくこと、農地と農業労働力とを最大限維持できるように生産努力目標を見込むとともに、輸出にも意欲的に取り組むこと。

目標値は、カロリーベース総合食料自給率45%、生産額自給率75%と設定するとともに、新たに、畜産における飼料輸入による影響を国内自給から差し引かない国内での生産と位置づけた「食料国産率」という概念を設定し、カロリーベースで53%、生産額で79%という目標値も設定された。

豚肉については、10年後（令和12年度）の豚肉消費仕向量は179万トンと現状（平成30年度）より6万トン（3.2%）の減と見込む一方、国内生産努力目標は92万トンと現状（平成30年度）より2万トン（2.2%）の増加と設定し、自給率は51%と5割を上回る設定となっている。近年の豚肉消費量の増加は主に北米や欧州等海外からの輸入の増加によるものであり、今後は、これらの輸入に置き換える形で、国内生産を増やしていく姿を描いている。